

裏磐梯だより



磐梯朝日国立公園
裏磐梯ビジターセンター

No.83
2017年3月

小さな世界⑱

まるで神事に使われる「はらえくし祓串」かアイヌ民族の「イナウ」のような様子です。これは、ダケカンバの樹皮に近づいてみた姿です。

一般に樹皮の外見はその種類により千差万別です。例えばアカマツの亀甲模様、ミズナラの深い縦裂など、特徴的です。ダケカンバのそれは、とても繊細。色からして明るい灰茶色で、とても薄く紙のようにはがれます。

樹皮は内部の木質を守るのが主な役割と考えられますが、樹木は成長とともに幹が内側から太くなり、だんだん樹皮が窮屈になって割れたり裂けたりします。

それがダケカンバの場合は、樹皮組織が毎年新しくつくられるので古い樹皮がどんどん剥がれていくそうです。寒い季節にアイヌやマタギは、これを点火材に使ったといいます。

イエローフォールを見に銅沼周辺を歩いたとき、小さなタイヤのように丸くなったダケカンバの樹皮が、風に吹かれ小動物のようにどこまでも雪原を舞っていました・・・。

(「ダケカンバの樹皮」2017年3月8日)

20 年 月 日
来館記念スタンプをどうぞ

■ 野鳥の渡り ■

1年を通して外を歩いていると、野鳥の鳴き声が聞こえたり、姿が見えたりすることがあります。1年中見られる鳥としては、シジュウカラやエナガ、アカゲラなどがあげられ、それらは「留鳥」と言われます。しかし、季節によって住む地域を変える野鳥も多くおり、それらは「渡り」をします。早春から初秋にかけて見られる「夏鳥」や、秋から早春にかけて見られる「冬鳥」、そして春や秋の渡りの途中に日本に立ち寄る珍しい「旅鳥」がいます。



夏鳥は主として繁殖のために、フィリピンやインドネシア等、日本より南の国からやってきます。福島県の鳥でもあるキビタキやオオルリ、ツバメ等が当てはまります。冬鳥は越冬のために、ロシア等日本より北の国からやってきます。コハクチョウやマヒワ、ツグミ等が当てはまります。裏磐梯でも多くの夏鳥や冬鳥が観察でき、それらを目当てに多くのバードウォッチャーが裏磐梯を訪れます。旅鳥は見ようと思って見られる野鳥ではありませんが、シギ類やエソビタキ等が見られることもあります。

では、私たち人間は飛行機や船で移動して海を渡りますが、野鳥はどれだけの距離を飛ぶのでしょうか？ツバメの場合、フィリピンやインドネシア等の東南アジアから繁殖のために飛来し、繁殖を終えると戻っていきます。その距離はなんと往復2,000km以上と言われており、1日で300km以上も飛ぶそうです。おおよそ裏磐梯から富士山周辺までの距離と考えると、凄いですね。

4月になると、夏鳥がやってきます。ぜひ双眼鏡やフィールドスコープを持って、裏磐梯の探勝路やご自宅の周りを散策してみませんか？

■ こんなの見なかった？ ■ 裏磐梯でよく見かける不思議なもの…さて、なんでしょう？

自然のなかを歩いていると、常に新しい発見があります。雪の上を歩いていると、丸くて茶色いものを見かけることがあります。右の写真のように1個だけぽつんと落ちていることがあれば、何個もまとまって落ちていることもあります。さて、これは一体なんでしょう？

- ①ノウサギのフン
- ②ハンノキの実
- ③探勝路の目印
- ④ペレットストーブの燃料
- ⑤フクロウのペリット



正解は①ノウサギのフンです。小さくて可愛らしいフンですが、臭いをかいてみても全然臭くありません。ノウサギは木の芽や枝、樹皮などを食べる植物食性の動物であるため、フンは臭くなりません。見つけたときは、ぜひ2つに割って臭いをかいてみてください。フンを探すときは、足跡を追ってみるとよいでしょう。足跡のつき方は独特で、縦並びの2つ（前足）と横並びの2つ（後ろ足）がセットになっています。ノウサギは先に前足を前後にずらしてついた後、後ろ足をそろえて前足よりも前方につきます。そして後ろ足でぴょんと跳ねます。下の写真では、どちらの方向に歩いたのか、わかりますか？（正解は右から左）



ノウサギそのものを見かけることはなかなかありませんが、フンや足跡といった痕跡（フィールドサイン）を見つけることは決して難しくありません。特に残雪期は、後から積もった雪によって見えなくなってしまうことが少ないため、これらのフィールドサインが探しやすくなります。ノウサギの生活の一端を探してみたいかがでしょうか？

■ 自然人（しぜんびと）

■ 自然の中でがんばっている人たちを紹介します

このコーナーでは自然活動がんばっている若い方にスポットをあて、自然の魅力や活動、目標などを紹介していただきます。



今回は、仙台市にある「青葉の森緑地」レンジャーのかわいはるかさんです。

「青葉の森緑地」
「太白山自然観察の森」
ここです！



「青葉の森緑地」は仙台駅から車で西へ 20 分、最寄り駅から徒歩 15 分の大変便利な場所に位置しています。市街地に隣接していますがカタクリの群生地がありカモシカが生息しているなど豊かな自然を体感できる素晴らしい森です。

私はレンジャーという仕事に就いて今年で 4 年目になります。最初の 2 年間は「太白山自然観察の森」で先輩方に教わりながら周辺で見られる動植物について知識を深めました。当時は図鑑でしか見たことのない生物との出会いに驚きの連続で、その感動をガイドやイベントの参加者と共有したいという思いからボリュームのあるプログラムを考えていました。

しかし、自然相手では天気に左右されるなど準備していてもどうしようもないことがたくさんあります。逆にカモシカが出現するなど嬉しいハプニングも起こりますから、最近はそのような予期せぬ事象を楽しむためプログラムに設けるゆとり“余白”を大事にしています。毎回何かが“余白”を埋めることになるのですが、その内容が「参加者が発見した不思議」や「感動を共有する時間」などその都度違ってくることにこの仕事の面白さを感じています。



これからは青葉の森が持つ個性を生かしたガイドや、森の恵みを暮らしに取り入れていた頃の人々の知恵に焦点を当てたイベントを企画したいと考えています。そして通勤族の多い仙台という町で地域に愛される森にしてゆくにはどうしたらよいのかを模索する日々が続いています。

「青葉の森緑地」の情報はブログでチェックできます！覗いてみてください(^_^)/
<http://blog.livedoor.jp/skrk2-aobanomori/>

■ ようこそ！ビジターセンターへ

■ 裏磐梯ビジターセンターの活動を紹介します

冬の「わくわく散歩」

冬の「わくわく散歩」では、スノーシューを使って雪の上を歩きます。スタッフと一緒に約 30 分、普段歩けない場所や、ふかふかの雪の上を歩くなど、素晴らしい経験ができます。初めての方でも、スタッフから丁寧に、スノーシューの履き方や、歩き方などを教えてもらえるので、安心して参加できます。



なお、ビジターセンターでは、長靴やスノーシューのレンタルをしていますので、道具を持たなくても気軽に参加できます。スタッフにお問い合わせください。

また、「わくわく散歩」に参加しなくても、長靴やスノーシューのレンタルをご利用いただけますので、お気軽にスタッフにお問い合わせください。

開館時間変更と

ゴールデンウィークのお知らせ

4月1日から開館時間が
午前9:00～午後5:00
に変わります。

※3月31日までは
午前9:00～午後4:00

ゴールデンウィークは
4月29日(土)～5月7日(日)
まで毎日開館します。

お待ちしております



イベントのご案内

🕒 わくわく散歩

スタッフがビジターセンター周辺をご案内します。雪解けまでは簡単なスノーシュー体験もできます。

随時受付 所要時間：30分程度 定員：10名
参加費：100円(未就学児無料)
スノーシューレンタル代：500円 長靴レンタル：200円

🕒 スライドトーク

スタッフがスライドを用いて、磐梯山の噴火や五色沼の成り立ち、裏磐梯で暮らす生き物などについてお話しします。

随時受付 所要時間：25分程度 定員：40名
参加費：無料

レンタル情報

スノーシュー、長靴、クマ鈴、双眼鏡のレンタルをおこなっています。金額等はお問い合わせください。

冬期閉鎖道路再開通予定などのお知らせ



県道米沢猪苗代線
(旧スカイバレー区間)
4月27日(木)10時
再開通予定

磐梯吾妻レークライン
4月中旬再開通予定

桧原湖畔探勝路
4月下旬再開通予定
※吊り橋が架かります

磐梯山ゴールドライン
4月中旬再開通予定

- 桧原湖畔探勝路
お問合せ：北塩原村商工観光課 0241-32-2511
- ★ 磐梯吾妻スカイライン…4月上旬再開通予定
お問合せ：吾妻土湯道路管理所 0242-64-3478
- 県道米沢猪苗代線(旧スカイバレー)
お問合せ：置賜総合支庁道路計画課 0238-26-6080
- 磐梯吾妻レークライン、磐梯山ゴールドライン
お問合せ：猪苗代土木事務所 0242-62-3102



裏磐梯の春

例年は4月下旬からミズバショウ、5月上旬からオオヤマザクラが咲き始めます。フキやスミシロの仲間、キクザキイチゲ、ヒメイチゲ、チゴユリ、マイヅルソウなどの足元の花々や、アラゲヒョウタンボクやオオカメノキ、ムラサキヤシオなどの低木の花々が次々と春を告げます。キビタキやオオルリなどの夏鳥たちの姿も見られるようになります。水辺では、クロサンショウウオやヤマアカガエルが産卵します。他の生き物たちと共に、ツキノワグマも活動を開始します。クマ鈴を持って春の森を散策しましょう。

「裏磐梯だより」について

- ウェブサイトからもご覧いただけます！
年間6回(奇数月)の発行ごとに更新します。
- 総集編 vol.1～3 販売中！
※各1冊 1,300円(税込)
裏磐梯ビジターセンターにて販売しています。
- 郵送でお届けする定期購読も！
ご住所とお名前を明記の上、82円切手6枚(1年間分)を同封して裏磐梯ビジターセンター宛にご郵送ください。

お楽しみに…♥



★ビジターセンターの窓から★

約2年9ヶ月、ありがとうございました。毎日変わる窓からの景色を楽しみました。みなさんもビジターセンターの窓からの景色を楽しんでください。(ろっぴ)
クイズ：雪が消えてしまうのは何月何日でしょうか？(くりりん)
残雪の上を自由に歩ける今が、五色沼を違った角度から見られるチャンス！(ターサン)
早く春が来ないかなあ…。(はるるん)

磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

開館時間

夏季 4月～11月 午前9:00～午後5:00
(冬季 12月～3月 午前9:00～午後4:00)

休館日 毎週火曜日、年末年始休館
(火曜祝日の場合は開館し翌日休館)

〒969-2701

福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峯 1093-697

TEL 0241-32-2850

FAX 0241-32-2851

入館無料



ウェブサイト <http://www.urabandai-vc.jp>